

鹿児島県 出水市立切通小学校

基本データ

所在地	出水市境町1286
児童生徒数	29人
教職員数	9人
蔵書数	4,710冊
年間貸出冊数	7,735冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導、公共図書館、地域との連携体制、ネットワークの構築

【活動のねらい】

- 子供の読書に対する興味・関心や、読書の質と量の向上を図る。
- 保護者や地域向けの図書コーナーの設置による地域の図書館としての機能の充実を図る。

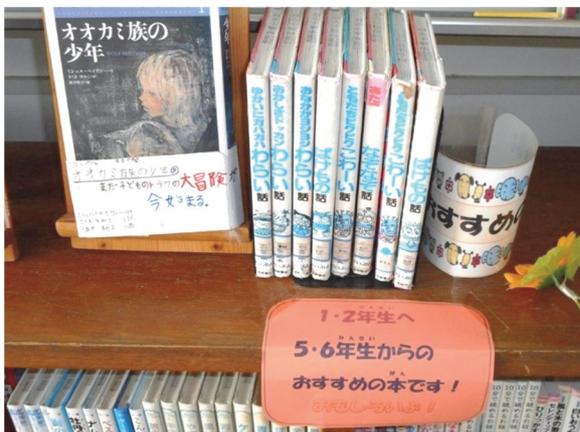
取組・活動の概要

- 地域や保護者、ボランティアグループと連携して児童一人一人が、図書館の楽しさや読書の良さを感じる読書活動を推進する。



読書ボランティアによる読み聞かせ

- 子供が通いたくなる図書館設営
- おすすめの本紹介コーナーの設置



おすすめの本紹介コーナー 上級生から下級生へ

- 日課表及び各種カードの工夫

- 必読図書一覧の作成
- 様々な人材を活用した読み聞かせ
- 学習センター切通図書館（学習関連図書コーナーの設置）の機能化
- 保護者・地域向けの図書コーナーの設置

取組・活動の工夫や特徴

【子供が通いたくなる図書館設営】

- 季節に合わせて図書館前の廊下や図書館内の設営を工夫し、子供の興味や読書への関心を高める明るい環境づくりを行っている。
- 図書館の一角に設置したリラックスコーナー（畳スペース）では、リラックスして本を読んだり、読み聞かせを行ったりしている。



リラックスコーナーの設置

【おすすめの本紹介コーナーの設置】

- 図書の新規購入に当たっては、毎年、選書会を実施し、全校児童が一人1冊ずつ読みたい本を選び、購入している。

- 新規に購入した図書や児童のおすすめの本には、選んだ児童が書いた本の紹介カードやポップを付けて「おすすめの本紹介コーナー」に配架している。

【日課表及び各種カードの工夫】

- 日課表に、毎朝 10 分間の読書の時間を設定することで、読書時間及び読書量を確保するとともに、落ち着いた雰囲気ですべての一日をスタートできるようにしている。
- 毎日の家庭学習における「10 分間読書」の記録カードや、毎月第 3 土曜日に設定している「子供と一緒に読書の日」の親子読書記録カードの活用を図ることで、各家庭で読書が生活の一部として浸透し、児童の読書量の向上につなげている。

【必読図書一覧の作成】

- 市の推薦図書一覧や教科書に掲載されている本を参考にして、発達の段階に応じた推奨図書を選定し、児童の読書の質の向上を図っている。

【様々な人材を活用した読み聞かせ】

- 年間を通して様々な人材による読み聞かせの場を設定することで、子供たちが多くのジャンルの本に親しみ、興味・関心を高めることができるようにしている。

【学習センター切通図書館（学習関連図書コーナーの設置）の機能化】

- 図書館の学習センターとしての機能化のために、学校司書と連携を図りながら、各学年の教科等の学習内容や学習時期に合わせて、関連図書を設置している。

【就学前の園児及び保護者・地域向けの図書コーナーの設置】

- 隣接する幼稚園の園児や保護者、地域の方々へも学校図書館を開放し、地域をあげて読書習慣の育成を図るため、幼児向けの蔵書や大人向けの寄贈本などを並べ、貸出しも行っている。地域全体で読書に親しむ地域の図書館としての取組を推進している。

うになってきた。記録カードからは、難しい本、分厚い本への挑戦など、児童の読書の幅に広がりが見られる。

- 生活習慣のアンケートからは、家庭での読書時間が増えていることが分かった。

取組・活動の成果や今後の展望

- 図書館運営の工夫により、児童が図書館に通う機会が増え、読書に慣れ親しむ姿が見られるよ